

【事務事業名:コンベンション誘致支援事業】

◎平成25年の実施状況(DO)

現在の実施状況	平成25年度は、継続大会について、1年目、3年目、5年目と1年空けての助成とする要綱改正後の初年度となることから、継続大会への助成を例年どおり行い、申請者に対して要綱改正の内容等の説明を行うなど、周知を図り、要綱改正の施行は平成26年度からとする。引き続き、徳島県や県観光協会が推進するスポーツ合宿の誘致に連携して取り組む。
---------	--

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	事業廃止により、コンベンション開催件数の減少やそれにとまなう交流人口の減少が危惧される。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 観光・交流のまちづくり の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要な不可欠な事業である。	
		<input type="checkbox"/>	⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	宿泊をとまなうコンベンション支援により、コンベンション開催の動機づけとなり、交流人口の増や経済効果が見込まれる。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。	
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業対象は適切である。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
<input type="checkbox"/>		⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	助成金の総額に占める継続大会の割合が大きく、定例的に開催されているものと新規開催のものを差別化する必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	継続大会については1年目、3年目、5年目と1年空けての助成とする要綱改正の内容をこれまでの継続団体をはじめとした申請者に周知する必要がある。コンベンション開催支援の窓口となっている鳴門市観光コンベンション(株)との調整・協議が必要となる。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	平成26年度 ▼ 4月 ▼			
	どのように改革するのか	要綱改正の内容を助成金申請者等に周知するなど、平成26年度施行への準備をすすめると同時にコンベンション開催支援の窓口となっている鳴門市観光コンベンション(株)との調整・協議をすすめる。これまで継続大会に助成していた財源を活用した新規コンベンションの誘致施策を検討する。			